

平成 21 年 8 月 19 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2

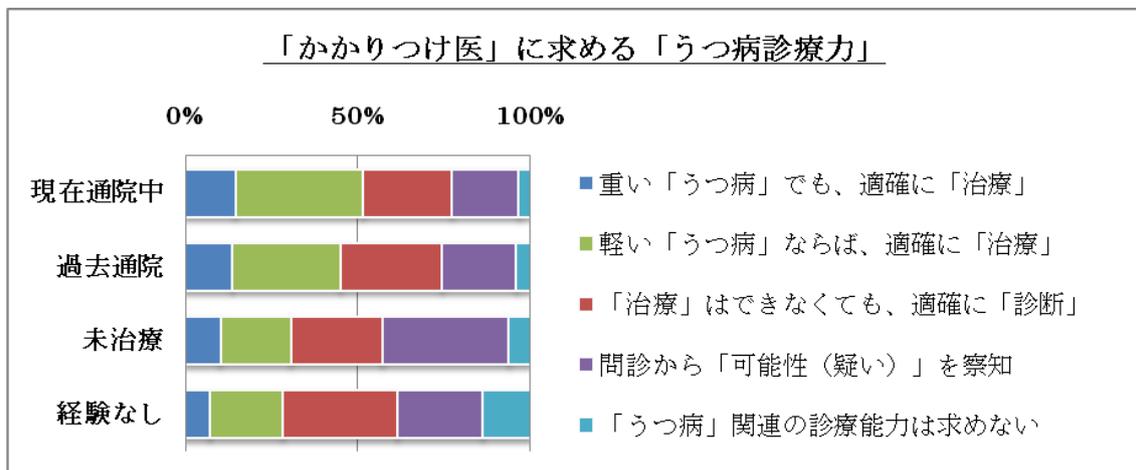
株式会社 QLife

ビジネスマン/OL の「かかりつけ医」には、うつ病診療能力が、もはや必須  
特に「男性」「地方」で傾向強い

日本最大級の病院検索サイト QLife (<http://www qlife.jp/>)を運営する株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行、以下 QLife)は、このほど『職場のうつ』調査を実施し、“理想の医師像”編のレポートをまとめた。回答者は「全国の上場企業勤務者」300 人。

それによると、うつ病患者の 77%、うつ病経験がない人でも 62%が、かかりつけ医に「うつ病を適確に診断できる能力」を求めている。未経験者でも診断能力を求める率が高いのは、うつ病＝誰もがかかる可能性がある病気、という認識が広まってきたためだろう。

属性別の傾向を見ると、女性よりも男性に、都市圏よりも地方圏に、うつ病診療能力を必要とする人が多かった。地方圏の方が、医療機関に関する情報量や交通アクセス、心療内科の絶対数などの事情で、専門医療機関を都度探すことが不便だからであろう。



また、うつ病相談相手の「理想の医師像」としては、まずは「コミュニケーションの姿勢」、次に「医学的スキル」が重要視されることが分かった。具体的には「よく聞いてくれる」を挙げた人が 37%で最大。2 番目に多かったのが「親身になってくれる」18%、3 番目が「話しやすい」12%であった。

※「話しやすい」は、能力よりも「人柄」関連が中心で、具体的な内容は多岐にわたる。





調査の目的は、企業の人事労務関係者にとって「うつ病社員」と「非うつ病社員」の双方にとって働きやすい職場環境づくりのヒントを提供することや、産業医や医療関係者に“企業に勤務中のうつ病患者”の職場との関係性について理解材料を提供することである。今回のレポートは、7月29日発表“偏見と本音”編、8月5日発表“職場への打ち明け”編の続編にあたる。

調査結果の詳しい内容は、健康医療情報サイト『QLife SQAURE』内の特集記事で閲覧可能。

■職場のうつ—“理想の医師像”編

<http://www.qlife.jp/square/depression/story6249.html>

■調査レポート(pdfファイル)をダウンロード

[http://www.qlife.co.jp/news/090818qlife\\_research.pdf](http://www.qlife.co.jp/news/090818qlife_research.pdf)

---

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife (キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念 : 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>

---

本件に関するお問い合わせ先 :

株式会社 QLife 広報担当 山内善行

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : [info@qlife.jp](mailto:info@qlife.jp)

---